

有機農業技術の科学的解明と実証的試験研究

私たちは、有機農業技術研究を通じて、持続可能な地域づくりに貢献します。

茨城大学農学部では、平成24年2月11日（土）阿見キャンパスにおいて、『自然共生を目指す有機農業への新たな道—茨城の現状を踏まえて—』の公開シンポジウムを開催しました。多数の方にご参加いただきありがとうございました。



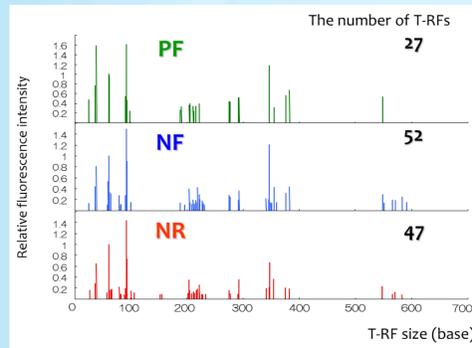
《分野を横断した連携研究体制》

生物生産科学科	
作物栽培学	浅木直美
応用動物行動学	安江 健
資源生物科学科	
微生物生態学	成澤才彦
地域環境科学科	
農業生産システム工学	岡山 毅
農地環境工学	西脇淳子
フィールドサイエンス教育研究センター	
農業生産技術学	佐藤達雄
農業安全管理学	小松崎将一

連携
大学・行政機関・地域農家との連携

①有機農業技術解明サブチーム

菌根菌による貧栄養条件下での作物生産
15Nトレーサ法による物質循環解明
土壌生物による生態系サービス機能解析
有機農業圃場での温室効果ガス発生解析



耕うん方法や有機物の投入によって土壌中の微生物相は大きく変わる

②農民参加型実証試験サブチーム

カバークロープ利用栽培農家での実証試験
土壌炭素貯留量のモニタリング
耕畜連携による物質循環のモニタリング
リビングマルチ利用の農法と天敵生物

不耕起とカバー
クロープ利用で
土壌炭素が年
間0.3tC/ha増加



③環境・経済性評価サブチーム

地産地消型有機農業の経済性評価
ARによる有機農業の地域普及システム
公開講座による地産地消型有機農業の推進



誰もが有機農産物にアクセスできる地産地消型有機農業の普及

問合せ先
茨城大学農学部附属フィールドサイエンス教育研究センター
小松崎 将一
komachan@mx.ibaraki.ac.jp

